

「国連食料システムサミット 2021」への支持表明

およびコミットメント提出のお知らせ

森永乳業グループは、「持続可能な社会」の実現に貢献することで、当社グループの継続的な発展に繋げるサステナビリティ経営を推進するため、7つの重要取組課題（「健康・栄養」「環境」「人権」「供給」「次世代育成」「人財育成」「コーポレート・ガバナンス」）を策定し様々な取り組みを行っています。

このたび、2021年9月にニューヨークにて開催予定の「国連食料システムサミット 2021 (Food Systems Summit:FSS)」への支持を表明し、持続可能な食料システムの実現に貢献するため、コミットメントを提出しました。

当社グループは今後、持続可能な社会の実現に向け、FSSのコミットメントに則した活動を展開いたします。

コミットメント

森永乳業グループは、全ての持続可能な開発目標の達成に向け、原材料調達から製品消費までのサプライチェーン上の様々な関係者と協働しながら、持続可能な食料システムへの変革のための具体的な行動を推進するために開催されるFSSへの支持を表明します。

当社は、持続可能な食料システム、特に「食料消費の持続可能性」「環境に調和した農業の推進」の実現に貢献するため、日本政府の「みどりの食料システム戦略」やJミルク(※)などの取組みに賛同し、食品ロスの削減、持続可能な調達に取り組みます。

※Jミルク;日本のミルクサプライチェーンを構成する、酪農生産者・乳業者・牛乳販売店が一体となった、業界横断的な組織です。

【具体的な取組・目標(コミットメント)】

- ①食品廃棄物発生量原単位を2021年度までに2013年度比30%削減します。
- ②RSPO認証パーム油の使用拡大

【関連情報】

森永乳業のCSR「環境」「供給」

<https://www.morinagamilk.co.jp/csr/environment/>

<https://www.morinagamilk.co.jp/csr/supply/>



FSSの趣旨に賛同した民間企業・団体の皆様のFSSへのコミットメントは以下URLより確認できます。

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kanren_sesaku/FAO/commitment.html

「国連食料システムサミット(Food Systems Summit:FSS)」について(農水省ウェブページより)

国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成のためには持続可能な食料システムへの転換が必要不可欠だという、グテーレス国連事務総長の考えに基づき開催される国連主催のサミットです。2021年7月ローマでプレサミットが、2021年9月にニューヨークでサミットが開催される予定です。同サミットは、食料システムの視点で捉えて、その持続性の確保を世界的な共通の課題として議論し、今後のあるべき姿を示そうとする各国ハイレベルによる初めての国際会議となります。

かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

〒108-8384 東京都港区芝5-33-1